



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—ダウ平均 4 週続伸で S&P500 とともに史上最高値を更新—

	前週終値	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,516.55	18,533.05	18,559.01	18,595.03	18,517.23	18,570.85	+54.30	+0.29%
騰落幅		+16.50	+25.96	+36.02	-77.80	+53.62		
S&P500	2,161.74	2,166.89	2,163.78	2,173.02	2,165.17	2,175.03	+13.29	+0.61%
騰落幅		+5.15	-3.11	+9.24	-7.85	+9.86		
ナスダック総合指数	5,029.59	5,055.78	5,036.37	5,089.93	5,073.90	5,100.16	+70.57	+1.40%
騰落幅		+26.20	-19.41	+53.56	-16.03	+26.26		

＜先週の概況＞

先週の米国株式市場は、主要 3 指数が揃って上昇し、ダウ平均と S&P500 は史上最高値を更新しました。好調な企業決算などを好感し、ダウ平均は 7 月 20 日まで 9 日続伸となりました。

ハイテク株比率の高いナスダック総合指数も年初来高値を更新、5,100 ポイントの節目を回復しました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



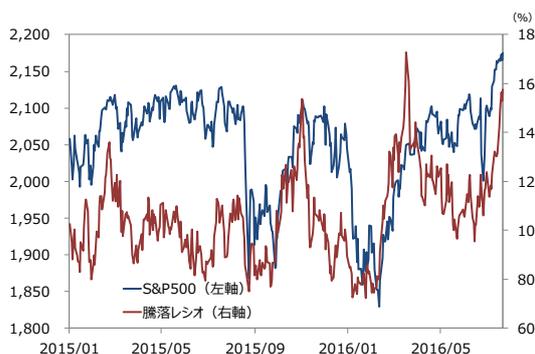
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.6	3.2	2.6%
S&P500	18.5	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.1	3.6	1.2%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年7月22日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

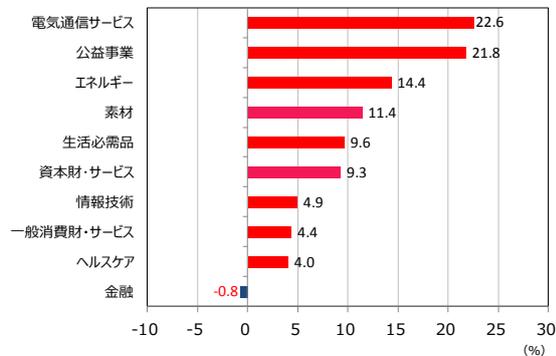
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

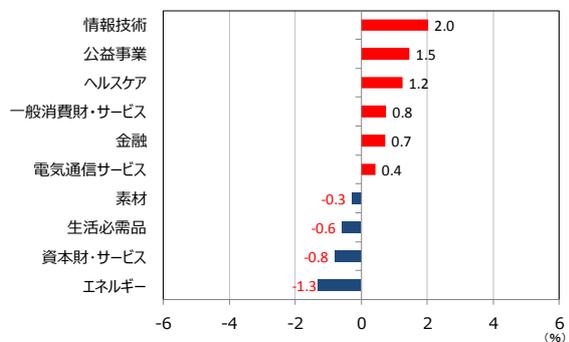
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (7/18-7/22)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
MSFT	マイクロソフト	5.3
MCD	マクドナルド	3.8
CSCO	シスコシステムズ	3.0
V	ビザ	2.1
DD	イー・アイ・デュポン・ド・ケムール	1.9
UNH	ユニオン・ヘルス・グループ	1.7
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	1.7
IBM	IBM	1.4
HD	ホーム・デポ	1.3
BA	ボーイング	0.8

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (7/18-7/22)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
ゼネラル・エレクトリック	ゼネラル・エレクトリック	-2.5
ウォルト・ディズニー	ウォルト・ディズニー	-2.1
ナイキ	ナイキ	-2.0
キャタピラー	キャタピラー	-1.6
メルク	メルク	-1.4
シェブロン	シェブロン	-1.3
トラベラーズ・カンパニーズ	トラベラーズ・カンパニーズ	-1.3
インテル	インテル	-1.2
エクソンモービル	エクソンモービル	-1.2
ゴールドマン・サックス・グループ	ゴールドマン・サックス・グループ	-0.8

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中13銘柄が上昇しました。マイクロソフト (MSFT) は1株当たり利益が市場予想を上回り、5%超上昇して上昇率トップとなりました。また、マクドナルド (MCD) は日本マクドナルドホールディングス (2702) の店舗が大ヒットゲームポケモンGOと提携すると報じられたことを受け買われました。

<下落>

ウォルト・ディズニー (DIS) は証券会社の投資判断引き下げを受け下落しました。また、原油価格の下げなどを受けエクソン・モービル (XOM) とシェブロン (CVX) がそれぞれ下げています。

先週発表された主な経済指標

中古住宅販売件数（年率換算） 6月 557万件 市場予想 548万件 前月 551万件

21日に発表された6月の中古住宅販売件数は557万件と市場予想を上回って前月から販売件数が増加しました。米住宅市場の堅調な改善を示す内容でした。



今後発表される主な経済指標

連邦公開市場委員会（FOMC）

26日から27日にかけて連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。今回のFOMCで利上げが決定される可能性は極めて低いとみられています。今回の注目点は、会合後に発表される声明文がどのような表現となるかです。

5月分の雇用統計が低調に終わったことでFRB高官たちの発言は利上げに対して慎重となりました。ただ、6月分の雇用統計がますます堅調な内容で、労働市場に対する過度の不安は後退しました。こうしたなか声明文の労働市場に対する表現がどのような内容となるかがポイントとなりそうです。

マーケットビュー—FOMCの声明文に注目—

先週のマーケットビューでは、予想 PER に割高感があることや騰落レシオも 140%程度まで上昇していることから利益確定売りが出やすいのではないかと記しました。結果的にはダウ平均は力強く上昇し史上最高値を更新しました。

今週は連邦公開市場委員会（FOMC）の声明文の内容が最大の注目材料です。現在は、追加利上げはあっても 12 月ではないかとの見方が市場では有力となっています。声明文の内容からその見方に変化が出て、再び早期利上げに市場の見方が傾けば利益確定売りの契機になる可能性もありそうです。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会